

資 料 編

北東アジア出土官印集成表（稿）

井黒 忍

【前言】

本集成表は北東アジア出土官印データベース（10～14世紀を中心に）作成を目的とした収集資料をまとめたものである。各種図録等に収録された資料及び実見した博物館等の所蔵資料の整理作業を進めている。現段階においては、下記文献に収録される官印と平成16年2月に実施したロシア沿海地方の資料調査で実見したもの限定して作業を行い、完全に同定が可能なものは統合を行い、その他未確定であるものに関しては別表記した。なお、各種記載内容に関しては随時変更・追加を行い、データベース作成を進めていく予定である。

【略号及び文献表】

jin	景愛編『金代官印集』文物出版社、北京、1991
j	張英・任萬舉・羅顯清編『吉林出土古代官印』文物出版社、北京、1992
l	王錦厚・郭守信主編『遼海印信図録』遼海出版社、瀋陽、2000
ll	「遼寧省博物館蔵印信図録」（『遼海印信図録』所収）
lh	「黒竜江省博物館蔵印信図録」（同上）
lj	「吉林省博物館蔵印信図録」（同上）
hg	黒竜江省文物考古工作隊編『黒竜江古代官印集』黒竜江人民出版社、哈爾濱、1981
y	伊保力・王禹浪編著『金源印符輯存』哈爾濱出版社、哈爾濱、2001
w	鮑海春・王禹浪主編『金源文物図集』哈爾濱出版社、哈爾濱、2001
2004- *	2004年度調査時のデータ

No.	時代	表記（印面）	表記（背面）	表記（側面）	出土時期	出土地点	所蔵機関	掲載文献	関連資料
1	渤海	天門軍之印	天門軍之印		1960	農安県渤海公社（渤海上京龍泉府皇城址）	黒竜江省博物館	h01； hg001	
2	遼	達刺火赤之印	達刺火赤之印		1960 年	黒竜江省阿城市		II065	
3	遼	啓聖軍節度使之印			1980 年代	丹東市振安区九連城村	丹東抗美援朝紀念館	II067	
4	遼	興中府綾錦印			1980 年代	吉林省松原市		II068	
5	遼	白檀鎮工商酒記			1990 年代	吉林省農安県		II070	
6	遼	立盟記郎之印			解放後	喀左県南公營子鎮	喀左県博物館	y34	
7	遼	汧王之印	[契丹文]		1960 年	黒竜江省阿城市金上京代皇城址内		II066	
8	遼	[契丹文官印]			1958	農安県開安鎮	吉林省博物館	j029	
9	遼	[契丹文官印]			1963	鳳城県鳳凰山城（烏骨城）	遼寧省博物館	j030	
10	遼	[契丹文官印]			1963	昌図県八面城遼金韓州遺址	昌図県文管所	j031	
11	遼	[契丹文官印]			1964	四平市	四平市博物館	j032	
12	遼	[契丹文官印]			1964	永吉県朱家郷	永吉県文管所	j033	
13	遼	[契丹文官印]			1964	鳳城県紅衛星供銷社採購站より購入	遼寧省博物館	j034	
14	遼	[契丹文官印]	[契丹文]		1965	渾江県三岔郷	吉林省博物館	II071	
15	遼	[契丹文官印]	[契丹文]		1972	阜新県知足山郷娘娘營子村	遼寧省博物館	II072	『遼史』 37(446)
16	遼	[契丹文官印]	[契丹文]		1972	建平三家郷房身村北遼墓	建平県文管所	II073	
17	遼	[契丹文官印]	[契丹文]		1972	朝陽県董家店郷于家溝村	朝陽市博物館	II074	『遼史』 40(497)
18	遼	[契丹文官印]			1973	樺甸県蘇密溝郷	吉林省博物館	II075	
19	遼	[契丹文官印]			1974	遼寧省蓋県十字街公社高台大隊	遼寧省博物館	II076	
20	遼	[契丹文官印]			1975	樺甸県	吉林市博物館	II077	
21	遼	[契丹文官印]	[契丹文]		1980	寛甸県古樓子郷大蒲石河村小坨子	寛甸県文管所	II078	
22	遼	[契丹文官印]			1981	鳳城県辺門鎮旭光村古城址	鳳城県文管所	II079	
23	遼	[契丹文官印]			1981	岫岩県大鎮石頭嶺村	岫県文管所	II080	
24	遼	[契丹文官印]			1982		遼寧省博物館	II081	
25	遼	[契丹文官印]			1982	盤山県胡家郷朱家大隊遼金遺址	盤山県文管所	II082	
26	遼	[契丹文官印]			1985	鳳城県辺門鎮湯河村	鳳城県文管所	II083	
27	遼	[契丹文官印]			1986	黒竜江省阿城市金上京遺址		II084	
28	遼	[契丹文官印]			1987	朝陽県木頭城	朝陽市博物館	II085	『遼史』 37(441)； 39(486)
29	遼	[契丹文官印]			1989	營口県溝沿郷	營口市文物店	y30	
30	遼	[契丹文官印]			1990	開原県老城	遼寧省博物館	y31	

No.	時代	表記（印面）	表記（背面）	表記（側面）	出土時期	出土地点	所蔵機関	掲載文献	関連資料
31	遼	[契丹文官印]			1990	桓仁県八里甸子鎮馬麓溝村	桓仁県文管所	y32	
32	遼	[契丹文官印]			1991	吉林省德惠県大房身郷城子下村		y33	w302
33	遼	[契丹文官印]			1999	吉林省梨樹県偏臉子古城址		w303	
34	遼	□司使□記			1980年代	黑竜江省賓県某郷		II069	
35	遼	判読不明復斗状印			解放前	海城県	遼寧省博物館	y35	
36	遼, 宋	判読不明獅紐九字印			近年	吉林省農安県		y36	
37	遼, 金	□□□□院印				鳳城県	鳳城県文管所	y37	
38	宋	中書門下之印				遼陽県塔宮子郷	遼陽市博物館	j021	
39	宋	中書門下之印			1982	興城県葉王郷定興店村	興城県文管所	j022	
40	宋	知審計院事印					朝陽市博物館	II059	
41	宋	忠正江域世家			1973	鉄嶺熔煉廠	遼寧省博物館	y29	
42	宋	提刑陝右			1977	鉄嶺熔煉廠	遼寧省博物館	II057	
43	宋	都尉之印	都尉 宣和二年造		1983	丹東振安九連城村	丹東市振安区文管所	j026	
44	宋	平定県尹	咸平三年五月／少府監鑄				黑竜江省博物館原蔵	y25	
45	宋	東南路第十二副將之印	右：元豐四年，左：少府監鑄				遼寧省博物館	hg002	
46	宋	威烈軍右指揮使記			1982	洮南県徳順郷	吉林省博物館	y26	
47	宋	右第一軍使記			1990年代	吉林省農安県		II052	
48	宋	輔司戸記			近年	黑竜江省阿城市金上京会寧府遺址		II055	
49	宋	潁兒部提政記			1990年代	吉林省通榆県		y27	
50	宋	神射第十二指揮第四都記	端拱元年五月鑄		1957	長春市徵集	吉林省博物館	II049	
51	宋	床子弩雄武第二指揮第三都朱記			1990年代	黑竜江省阿城市金上京遺址		j028	
52	宋	京東東路保甲司勾當公事官朱記	少府監鑄政和三年五月		1951	北京市徵集	吉林省博物館	j024	
53	宋	驍猛第四指揮第五都朱記	太平興国二年八月鑄		1982	遼寧省大凌河	吉林省博物館	j023	
54	宋	四院朱記						j027	
55	宋	勾當公事朱記			1977	鉄嶺熔煉廠	遼寧省博物館	j025	
56	宋	功聖提點印				錦州地区	錦州市博物館	II051	
57	宋	上清天樞密印			1983	舒蘭県白旗郷	吉林市博物館	II056	
58	宋	大清禪提點印				喀左県大城子郷老道溝村	喀左博物館	II050	
59	宋	京兆智遠圖書				凌源県北炉郷	遼寧省博物館	II058	
60	宋	□□□□記			1957	梨樹県偏臉城	四平市博物館	y28	
61	宋	□質□提點印			1984	樺甸県木其河郷	吉林省博物館	II053	
62	宋	□真西管戸大使印			1985	農安県哈拉海郷	農安県文管所	II054	

No.	時代	表記（印面）	表記（背面）	表記（側面）	出土時期	出土地点	所蔵機関	掲載文献	関連資料
63	宋－遼金	管勾軍記				錦州地区	錦州市博物館	II062	
64	宋－遼金	管勾所記			1977	鉄嶺熔煉廠	遼寧省博物館	II063	
65	宋－遼金	管勾所記				建平県古山子郷房身村	建平県文管所	jin126 ; II064	
66	宋－遼金	原州開邊寨記			1973	鉄嶺熔煉廠	遼寧省博物館	II060	『遼史』37(449)
67	宋－遼金	全勝指揮使記					遼寧省博物館	II061	
68	西夏	元徳二年			1951	北京市徴集	吉林省博物館	j036	
69	西夏	首領	天盛乙酉十七年正首領 兀西路玉		1963	長春市徴集	吉林省博物館	j035	
70	西夏	〔西夏文官印〕				喀左県十二徳堡喇叭溝村	喀左県博物館	II086	
71	西夏	〔西夏文官印〕	〔西夏文〕				遼寧省博物館原蔵	II087	
72	偽齊	同知鎮安軍節度使事印	右：阜昌七年製／左：造軍器所造			ノヴォニエジェンスコエ	個人蔵	2004-1	『金史』25(596)；57(1311)
73	金	中書門下之印			1983	吉林省舒蘭県	吉林省博物館	jin5	
74	金	行尚書六部印			1949	遼寧省桓仁県	本溪市博物館	jin9	
75	金	知審計院事印	大定五年閏五月禮部造		清末	遼寧省新賓県		jin23	
76	金	東上閣門使印			1977	遼寧省鳳城県	遼寧省博物館	jin26	
77	金	誅王之印			1909	阿城県 or 黒竜江省双城県		jin28 ; hg054	
78	金	越王府文學印	右：大安二年九月，左：礼部造	越王府文學印	1951	北京市徴収	吉林省博物館（遼寧省博物館原蔵）	088；II093	『金史』57(1301)
79	金	登聞檢院之印	登聞檢印之印／尚書省監鑄	正隆元年□月□日		黒竜江省五常市八家子郷		y1；w304	『金史』56(1279)
80	金	主奏司郎中印		主奏司郎中	1965	農安県渤海公社烽火大隊	農安県文管所	jin12； hg035	
81	金	内侍局印			1990	黒竜江省五常市興隆郷代金代古城址		y2	『金史』56(1262)
82	金	上京路都統印	興定三年四月日	上京都統印	1977	牡丹江市	黒竜江省文物考古研究所	jin306； hg022	
83	金	上京路都統塞字號印	上京行部造，都統塞字號	貞祐□年	1964	鶴崗市徴収	黒竜江省博物館	jin302； lh12； hg021	
84	金	都統所印	都統印		1954	延吉県城子山山城	吉林省博物館	j039	
85	金	都統所印	□□□		1961	集安県太王郷	集安県博物館	jin351； j040	
86	金	都統所印		貞祐六年七月造，都統所印	1974	伊春市南叉区東方紅公社戰闘一隊	黒竜江省博物館	jin338； hg024	
87	金	都統所印			1987	黒竜江双城市一座遼金古城遺址		y15	
88	金	都統所印			1989	徳恵県岔路口郷	吉林省博物館	j041	
89	金	都統所印		右：貞祐二年五月日，上：都統所印		建平県沙海郷孟家高堡	遼寧省博物館	II099	
90	金	都統所印	貞祐五年正月，行六部造				黒竜江省博物館原蔵	hg023	
91	金	都統所印			1970	遼寧省荘河県		jin347	
92	金	都統所印	都統所印		近年	内蒙古自治区涼城県		jin350	

No.	時代	表記（印面）	表記（背面）	表記（側面）	出土時期	出土地点	所藏機関	掲載文献	関連資料
93	金	都統所印			1978	吉林省白城市	黑竜江省依蘭県文管所	j1n352	
94	金	都統所印			近年	遼寧省凌源県	凌源県博物館	j1n353	
95	金	都統所印			近年	遼寧省岫岩県	丹東市文化部門	j1n354	
96	金	都統府印	礼部造	上：都統府印。 左：開興二年五月	1980	阜新県平安地郷	阜新県文管所	11107	
97	金	都統府印		貞祐五年九月日造，都統府印	1970 年前後	錦西部集屯郷岳家屯	錦州市博物館	11126	
98	金	都統府印					遼寧省博物館原蔵	11125	
99	金	都統府印			民国期	内蒙古大寧城		j1n210	
100	金	都統府印		□□二年五月，都統所印	近年	遼寧省朝陽県徴収	朝陽市博物館	j1n345	
101	金	都統之印	礼部造	都統之印，天興二年閏七月	1975	昌図県大洼安村	鉄嶺市博物館	j1n313； 11128	
102	金	征行都統之印	壬午年四月日	征行都統之印	1957	汪清県	吉林省博物館	j042	
103	金	都統所彈押印	礼部造	□□二年四月，都統所彈押印	1983	興城県大寨郷双堆子村	興城県文管所	11127	
104	金	上京路副統出字號印	貞祐四年二月 上京行六部造	上京副統出字號印	1981	榆樹県紅星郷	吉林省博物館	j1n365； j046	
105	金	上京路副統露字號印	上京行部造，副統露字	貞祐四年正月	1977	鷗東県綜合郷	黑竜江省博物館	j1n364； 1h13； hg025	
106	金	副統所印			1975	阜新県他本扎蘭郷	阜新市文管弁	11129	
107	金	副統之印			1957	長春市郊	吉林省博物館	j045	
108	金	副統之印	貞祐五年造，副統		1970	哈爾濱市徴収	黑竜江省博物館	j1n371； hg026	
109	金	副統之印		上：貞祐五年八月，左：副統之印	1975	湯源県竹簾公社保全大隊	黑竜江省博物館	j1n369； hg027	
110	金	副統之印			1977	黑竜江省湯源県	依蘭県文管所	j1n384	
111	金	副統之印			1976	方正県永豊公社東興大隊	黑竜江省博物館	j1n388； hg028	
112	金	副統之印	崇慶二年二月禮部造		1978	農安県鎮	吉林省文物考古研究所	j044	
113	金	副統之印			1994	黑竜江省阿城市楊樹郷		y17	『金史』57(1328)
114	金	副統之印	右：貞祐二年八月，左：真定帥府造	副統	民国期	遼西	遼寧省博物館	j1n359； 11097	
115	金	副統之印	河東北運司造，貞祐四年四月日		近年	内蒙古涼城県		j1n366	
116	金	副統之印				遼寧省鳳城県	旅順博物館	j1n385	
117	金	副統之印			1977	内蒙古自治区喀喇沁旗	赤峰市博物館	j1n387	
118	金	義軍都統之印	大都統		1957	汪清県	吉林省博物館	j043	
119	金	兵馬副統之印			1980年代	吉林省農安県某郷		y11	
120	金	萬戸所印	右：貞祐五年中都白，左：路經略使監造				瀋陽故宮博物院	11104	

No.	時代	表記（印面）	表記（背面）	表記（側面）	出土時期	出土地點	所藏機關	掲載文献	関連資料
121	金	天字号行軍萬戸所印	万戸印		1972	阿城県白城（金上京会寧府城址）	阿城県文管所	jin298 ; hg016 ; w311	
122	金	天字號行軍萬戸所印	万戸印		1960年代	遼左県大城子	遼寧省博物館	ll140	
123	金	天字號行軍萬戸所印		貞祐二年九月日造。行軍萬戸所印	1969	内蒙古喀喇沁旗	赤峰市博物館	jin255	
124	金	天字號行軍萬戸所印			近年	遼寧省朝陽	朝陽市博物館	jin296	
125	金	行軍萬戸所印	貞祐三年四月八日平州造	菜字号萬戸所印	1979	建平県喀喇沁公社高杖子大隊	建平県文管所	jin257 ; ll098	
126	金	行軍萬戸所印	貞祐三年二月二十八日造	行軍萬戸印、金字号	1957	汪清県蛤蟆塘郷	吉林省博物館	jin256 ; j060	
127	金	上京路萬戸王字號印			1975	賓県勝利公社普安大隊	黑竜江省博物館	jin278 ; lh08 ; hg013	
128	金	上京路萬戸印			1979	黑竜江省寧安県	寧安県文管所	jin277	
129	金	合剌合萬戸印			1932	遼寧省錦県	錦県李守春旧蔵	jin279	
130	金	萬戸之印	万戸		解放後	復県得利寺郷龍口村	瓦房店市博物館	ll137	
131	金	萬戸之印	禮部造／萬戸印		1990	黑竜江省五常市朝陽鎮		y18	
132	金	萬戸之印	萬戸		1980	遼寧省復県		jin251	
133	金	萬戸之印	興定四年正月，單州行部造		1959	内蒙古喀喇沁旗	赤峰市博物館	jin263	
134	金	萬戸之印			解放後	遼寧省丹東	丹東市文化部門	jin274	
135	金	行軍萬戸之印			1973	寬甸県虎山郷長崗村天橋二組	寬甸県文管所	ll138	
136	金	行軍萬戸泉字號之印	貞祐元年九月		1985	勃力県	黑竜江省博物館	lh11	
137	金	行軍萬戸笠字號之印	右：崇慶二年三月，左：礼部造	左：行軍萬戸笠字号之印	1968	阿城市舍利郷	黑竜江省博物館	jin253 ; lh09 ; hg015	
138	金	行軍副統光字號之印	貞祐五年四月 日造	行軍副統光字号			遼寧省博物館原蔵	ll103	
139	金	行軍萬戸戸字號之印		行軍萬戸戸字号印			遼寧省博物館原蔵	ll139	
140	金	行軍萬戸平字號之印	崇慶元年三月 禮部造	行軍萬戸平字號之印	1957	汪清県蛤蟆塘郷	吉林省博物館	j059	
141	金	行軍萬戸卮字號之印		右：行軍万戸印，上：貞祐元年十月，下：應辦所造	1986	阜新県	阜新県文管所	ll096	
142	金	行軍第三萬戸之印	行軍第三萬戸之印，明昌七年十一月		解放後	内蒙古自治区巴林右旗	赤峰市博物館	jin270	
143	金	征行萬戸之印		征行万戸之印	1972	阿城県白城（金上京会寧府城址）	阿城県文管所	jin289 ; hg017 ; w312	
144	金	征行萬戸之印			1975	方正県永豊公社東興大隊	黑竜江省文物考古研究所	jin288 ; hg018	
145	金	征行萬戸之印			解放前	尚志県		hg019	
146	金	征行萬戸之印	貞祐三年二月二十八日□□造	行軍萬戸所印	1960	農安県靠山屯郷	北京軍事博物館	j061	
147	金	征行萬戸之印		征行萬戸印	1978	双遼県紅旗郷	双遼県文管所	jin547 ; j062	

No.	時代	表記（印面）	表記（背面）	表記（側面）	出土時期	出土地点	所蔵機関	掲載文献	関連資料
148	金	征行萬戸之印			民国期	黑竜江省珠河県	延寿陳大猷旧蔵	jln287	
149	金	征行萬戸之印		征行萬戸之印	1987	黑竜江省泰来県江橋鎮康楽村	泰来県図書館	jln554	
150	金	扎扎萬戸之印			1985	依蘭県永泉郷	依蘭県文管所	lh19	
151	金	漢軍萬戸之印	漢軍萬戸之印			蛟河県鎮		j063	
152	金	漢軍萬戸之印			1959	阿城県白城（金上京会寧府城址）	黑竜江省博物館	jln292 ; lh20 ; hg020 ; w310	
153	金	漢軍萬戸之印	漢軍萬戸之印		民国期	吉林省額穆県		jln291	
154	金	義軍萬戸之印			1998	黑竜江省阿城市金上京会寧府故城		y19	
155	金	義軍萬戸之印			1951	北京市徴集	吉林省博物館	j087	
156	金	西北路胡都■詳穩之印	正隆元年十一月，内少府監造	西北路胡都■詳穩印	1980	内蒙古科左後旗	内蒙古考古研究所	jln212	
157	金	西北路霞麼■麼胡記	正隆元年九月，内少府監造	西北路霞麼■麼胡記	1980	内蒙古科左中旗	内蒙古考古研究所	jln213	
158	金	西北路蘇母典■麼胡記	正隆元年九月，内少府監造	西北路蘇母典■麼胡記	1988	内蒙古開魯県	哲里木盟博物館	jln214	
159	金	提控所印			1980年代	黑竜江省阿城市		w306	
160	金	提控所印			1973	内蒙古自治区巴林右旗		jln458	
161	金	提控所印			近年	遼寧省朝陽市	朝陽市博物館	jln484	
162	金	提控所印			1979	遼寧省寬甸県		jln490	
163	金	都提控所之印	光字号，都提控所印		1974	蘭西県東風郷	黑竜江省博物館	jln500 ; lh07 ; hg031	
164	金	都提控所之印			解放後	建平県沙海郷孟家窩堡	遼寧省博物館	ll132	
165	金	都提控所之印			解放後	内蒙古自治区喀喇沁旗	赤峰市博物館	jln499	
166	金	提控所金字印	右：貞祐四年二月，左：行官礼部造	提控所金字印			遼寧省博物館原蔵	ll101	
167	金	都提控印			1977	撫松県抽水郷	撫松県文管所	j055	
168	金	都提控印		右：貞祐五年三月 日造，左：都提控印	1979	錦西市南票区池塘鎮安昌峴村	錦西市連山文管所	ll102	
169	金	都提控印			1988	德惠県天台郷	德惠県文管所	jln456 ; j056	
170	金	都提控印		都提控印	解放後	内蒙古自治区赤峰市	赤峰市博物館	jln463	
171	金	都提控之印			1972	樺甸県公吉郷	吉林省博物館	j037	
172	金	兵馬都提控印	右：辛巳年六月八日，左：兵馬都提控印		1974	遼寧省文物店より購入	遼寧省博物館	jln475 ; ll134	
173	金	行軍都提控印		行軍都提控印	1973	鉄嶺熔煉廠	遼寧省博物館	ll135	『金史』103(2270)
174	金	宣差都提控印			1975	遼寧省法庫県		jln153	
175	金	元帥府合札都提控之印			解放後	遼寧省北票県	朝陽市博物館	jln477	
176	金	提控之印			1977	建平県八家郷平房北山坡	建平県文管所	jln445 ; ll131	
177	金	上京路提控印	大定七年四月十八日		1973	賓県長安公社古城大隊		jln470 ; hg030	

No.	時代	表記（印面）	表記（背面）	表記（側面）	出土時期	出土地点	所蔵機関	掲載文献	関連資料
178	金	上京路軍馬提控盈字號之印	右：貞祐四年五月日，左：上京行六部造	上：軍馬提控盈字号印	1970	海林縣新安鄉	黑竜江省博物館	j1n472； lh14； hg032	
179	金	上京路軍馬提控木字号之印	右：木字号印，左：貞祐三年十一月		解放前	農安縣	寧安縣農會旧蔵	j1n471； hg033	
180	金	行軍副提控印			1944	海龍縣水道鄉	海龍縣文化館	j057	
181	金	行軍副提控印			1970	喀左縣大城子鄉小城子村	喀左縣博物館	j1n506； ll136	『金史』103(2270)
182	金	遼西北路經略司印			1963	德惠縣	吉林省博物館	j1n75；j047	
183	金	經略使司之印	經略使司之印		1973	黑竜江省寶泉縣長安鄉	遼寧省博物館原蔵	ll111	
184	金	經略使司之印	經略使司之印		1973	黑竜江省寶泉縣長安鄉	黑竜江省博物館	lh05； hg045； w305	
185	金	經略使司之印	經略使司之印		1973	黑竜江省寶泉縣	黑竜江省博物館	j1n72	
186	金	經略使司之印				大連市	遼寧省博物館	j1n74	
187	金	經略副使之印					遼寧省博物館原蔵	ll112	
188	金	宣撫司印			1980	復縣湯家鄉黃旗村	瓦房店市博物館	ll113	『金史』55(1242)
189	金	宣撫司胡魯印			1983	丹東市振安區九連城鎮九連城村	丹東市振安區文管所	ll114	『金史』55(1242)
190	金	招撫使印				遼寧省興城縣	遼寧省博物館	j1n86	
191	金	招撫副使之印			1963	佳木斯市大賚公社南城子大隊	黑竜江省博物館	j1n88； lh06； hg047	
192	金	西北路招討司之印	正隆元年九月，内少府監造		1980	內蒙古科左中旗	內蒙古自治區考古研究所	j1n94	
193	金	統領都提控行司之印	統領都印		1958	長春市郊	吉林省博物館	j054	
194	金	總領之印	總領印		1909	巴彥縣	黑竜江省藏書樓旧蔵	j1n427； hg029	
195	金	總領之印	天興二年		1989	洛陽市文物店より購入	遼寧省博物館	ll106	
196	金	總領提控所印	右：興定七年六月日，左：東京口部造	右：總領提控所印，左：左領	1986	本溪市明山区臥龍鄉大濃湖村	本溪市博物館	j1n438； ll105	
197	金	副總領印			1973	鉄嶺熔煉廠	遼寧省博物館	j1n429； ll115	
198	金	都總押之印			1983	吉林省永吉縣		w307；y14	
199	金	總押所印		總押印	1956	長春市郊	吉林省博物館	j058	
200	金	上京路總押荒字號印	右：貞祐四年正月，左：上京路行六部造	右：總押荒字	1964	阿城縣白城（金上京會寧府城址）	金上京歷史博物館	j1n420； lh15； hg048； w315	
201	金	行軍總押之印		總押印	1980	復縣鄧屯偏坡	瓦房店市博物館	j1n418； ll109	
202	金	行軍總押之印			民国期	遼寧省丹東	丹東孔昭智旧蔵	j1n419	
203	金	摠押元字號印	摠押元字号印				遼寧省博物館	ll149	
204	金	都軍司印			1976	凌源縣万源店鎮無白丁營子	凌源縣博物館	j1n67；ll130	
205	金	都彈压所之印			1980年代	吉林省白城地区		w308	
206	金	都彈壓所之印			1980年代	吉林省前郭縣八郎鄉塔虎城址		y12	

No.	時代	表記（印面）	表記（背面）	表記（側面）	土時期	出土地点	掲載文献		関連資料
207	金	都彈壓所之印		貞祐五年四月， 上京行六部， 都彈壓所之印	1962	阿城県白城（金上京会寧府城址）	佚	jln416； hg050	
208	金	都彈壓所之印	都彈壓所 服字号		解放後	喀左県	喀左県博物館	jln417； ll119	
209	金	都彈壓印			1972	扶余県風華郷	扶余県博物館	jln410； j052	
210	金	彈壓所印	彈壓所印，行六部造， 貞祐五年四月		1995	黑竜江省木蘭県新勝郷 新強村		y13	
211	金	省彈壓印			民国期	黑竜江省寧安県	寧安伊双海（晏波） 旧蔵	jln412； hg051	
212	金	鎮撫都彈壓印			1991	双陽県勸農郷	吉林省博物館	j039	
213	金	副都歳字之印	右：貞祐三年五月，左： 行官礼部造	副統歳字之印			遼寧省博物館原蔵	ll100	
214	金	東京留守司委差羽字勾當 印		右：留守司委 差羽字勾當印， 左：天統三年 三月 日 造	解放後	鳳城県辺門鎮金家村	鳳城県文管所	ll152	
215	金	上京留守司印			1905	吉林省德惠県大房身鎮 城子村	偽德惠県公署旧蔵	y7	『金史』57(1305)
216	金	胡里改路之印	右：貞祐五年二月，行 六部造	胡里改路之印	1977	鶏東県綜合公社四排大 隊	黑竜江省博物館	jln35； lh17； hg004	『金史』24(553)
217	金	蒲峪路印			1975	黑竜江省克東県金城郷 古城村	黑竜江省博物館	jln34； lh18； hg003	『金史』24(552)
218	金	北京路都元帥府印	北京路都元帥府印，己 卯年七月日鑄		民国時代	黑竜江省綏化県		jln203	
219	金	元帥都監府印	元帥都監府印		1977	凌源県河坎子碾子溝二 道梁河	凌源県博物館	ll110	
220	金	元帥都監府印			解放後	遼寧省朝陽市	朝陽市博物館	jln197	
221	金	平定威州行元帥府印			解放後	朝陽県	朝陽市博物館	jln209； ll141	『金史』25(603)
222	金	東京路按察司之印	右：崇慶二年三月，左： 礼部造	東京路按察司 之印	1960年 代	鳳城県辺門鎮	遼寧省博物館	ll095	『金史』57(1309)
223	金	東京路酒稅使司印			1995	吉林省四平市某郷		y10	『金史』57(1319)
224	金	遼東路轉運司之印	大安元年九月		1957	哈爾濱市	黑竜江省博物館	jln77； lh03； hg046	『金史』24(553)； 57(1311)
225	金	安撫使司之印		安撫使司之印		吉林省琿春県半拉城	遼寧省博物館	jln70；ll108	
226	金	上京路安撫副使印	貞祐四年二月日，上京 行六部造	上京路安撫副 使之印	1952	鶏西市恒山区	黑竜江省博物館	jln68；lh04	hg044 / 『金史』 24(550)；57(1309)
227	金	安撫副使之印	興定三年四月日	安撫副使印	1984	琿春県哈達門郷	琿春県文管所	j038	『金史』57(1309)
228	金	安撫司經歷印			1980年 代	吉林省德惠県梨樹園子 古城址		y3	『金史』57(1309)
229	金	上京隆安勸農副使印	上京隆安勸農副使印		1972	扶余県風華郷	扶余県博物館	jln80；j053	
230	金	會州勸農之印	承安四年九月，禮部造		1957	吉林省農安県	吉林大学	jln81	
231	金	勸農副使之印			1970年 代	鳳城県	丹東抗美援朝紀念 館	jln79；ll123	『金史』55(1243)
232	金	上京印造交鈔庫之印	上京印造交鈔庫之印／ 貞祐二年五月□日		1994/1	黑竜江省阿城市阿什河 郷東環村		y8	『金史』56(1283)
233	金	上京監支納所之印		上京監支納所 之印	1990年 代	吉林省通化地区		y9	『金史』57(1323)

No.	時代	表記（印面）	表記（背面）	表記（側面）	出土時期	出土地點	所藏機關	掲載文献	関連資料
234	金	興中府治中印	崇慶二年二月	興中府治中印			錦州市博物館	II094	『金史』95(2115)
235	金	咸平府推官印			1988	西豐鎮民主街	西豐縣文管所	II120	『金史』24(553)；57(1311)
236	金	慶陽府第三將定邊軍指揮人馬記	貞祐三年□□	慶陽府第三將定邊軍指揮人馬記	1977	鉄嶺熔煉廠	遼寧省博物館	II142	『金史』26(650)
237	金	韓州刺史之印	大定二年閏二月 少府監造		1957	九台縣龍家堡鄉	中国歴史博物館	jin42；j064	『金史』24(554)
238	金	同知遼海軍節度使事印	貞祐二年十月／上京行六部造	同知遼海軍節度使事印	1996	黑龍江省阿城市阿什河鄉東環村		y4	『金史』24(556)；57(1311)
239	金	太州防禦使□	太州■		1990	黑龍江省双城市一金代古城遺址		y20	『金史』24(563)；57(1312)
240	金	防州知判之印			1984	吉林省安圖縣		y16	『遼史』37(451)
241	金	惠州監支納印		惠州支納□□	解放後	喀左縣	喀左縣博物館	II122	『金史』24(558)
242	金	肇州司侯司印	泰和四年十月，礼部造	肇州司侯司印	1976	東寧縣老黑山公社南林大隊	黑龍江省考古研究所	jin59；lh02；hg049	『金史』24(551)；57(1314)
243	金	威州司侯司印					遼寧省博物館原藏	II143	『金史』25(603)
244	金	司侯司印			1982	德惠縣五台鄉	長春市文管會	j085	
245	金	來遠軍印	右：大定十四年二月，左：尚書礼部造				遼寧省博物館	II091	『金史』24(557)
246	金	青糞縣印	泰和五年				遼寧省博物館原藏	jin48；II092	
247	金	海濱縣印	右：泰和二年四月，左：礼部造	海濱縣印			遼寧省博物館	jin47；II144	『金史』24(559)
248	金	閭陽縣印	閭陽		1973	鉄嶺熔煉廠	遼寧省博物館	jin55；II146	『金史』24(560)
249	金	利涉縣印	正隆二年正月□内少府監造	利涉縣	1970	扶余縣新城局鄉	吉林省文物考古研究所	jin49；j081	『金史』24(552)
250	金	阜俗縣印				喀左縣左泉鄉馬營子村	喀左縣博物館	II145	『金史』24(558)
251	金	桓戎火倉之記	右：泰和元年正月，左：礼部造	上：桓戎火倉之記	1976	海林縣柴河公社北站大隊		jin98；hg052	
252	金	草場之記			1976	喀左縣	喀左縣博物館	jin100；II124	『金史』57(1323)
253	金	應辦所印			1960	長春市郊	吉林省博物館	jin171；j079	
254	金	應辦所印			1982	德惠縣大房身鄉	德惠縣文管所	jin170；j080	
255	金	合同印記			1996	黑龍江省五常市興隆鄉		y22	
256	金	堂厨公使酒庫之印		堂厨公使酒庫之印	1982	依蘭縣迎蘭鄉	依蘭縣文物管理所	jin22；lh16	
257	金	白檀鎮商酒記			近年	遼寧省朝陽市	朝陽市博物館	jin111	
258	金	上京路勾當公事雲字号之印	上京行部造，勾當公事雲字	号之印	1973	阿城縣白城（金上京会寧府城址）	阿城縣文管所	jin150；hg037	
259	金	上京路勾當公事裳字号之印	貞祐三年九月日，上京行六部造	裳字勾當公事印	1972	阿城縣白城（金上京会寧府城址）	阿城縣文管所	jin149；hg036；w314	
260	金	勾當公事明字号之印	禮部造崇慶二年四月／勾當公事明字號之印		1986	黑龍江省阿城市阿什河鄉白城村		y6；w313	
261	金	勾當公事威字號之印	崇慶二年□二月威字號印		1916	琿春縣三家子鄉	琿春縣知事李善元旧藏	jin144；j084	
262	金	勾當公事遐字号之印	大安三年四月，礼部造	勾當公事遐字号之印	1963	綏化縣秦家公社	黑龍江省博物館	jin142；hg038	

No.	時代	表記（印面）	表記（背面）	表記（側面）	出土時期	出土地点	所藏機関	掲載文献	関連資料
263	金	勾當公事深字號之印	崇慶□年二月，礼部造		1972	依蘭県旧城	黒竜江省博物館	j143 ; lh10 ; hg039	
264	金	勾當公事月字号印	貞祐四年二月日，上京行六部造	勾當月字印	1963	龍江県龍興鎮西山大隊	黒竜江省博物館	j146 ; hg041	
265	金	勾當公事龍字号之印		至寧元年八月初三日造，咸平應辦所，龍字号二	1959	阿城県白城（金上京会寧府城址）	黒竜江省博物館	j145 ; hg040	
266	金	勾當公事龍字號之印		咸平應辦所至寧元年□□初三日造 龍字號一百九	1958	遼陽県甜水郷甜水城城址	遼陽市博物館	ll117	
267	金	勾當公事日字号之印	大安三年三月，禮部造	勾當公事日字號之印	1971	内蒙古自治区凉城县	内蒙古自治区考古研究所	j141	
268	金	勾當公事別字号之印			1976	遼寧省喀喇沁左旗蒙古族自治县	喀喇沁左旗博物館	j147	
269	金	勾當公事音字号之印			1976	遼寧省喀喇沁左旗蒙古族自治县	喀喇沁左旗博物館	j148	
270	金	勾當公事之印	勾當公事		1960	琿春県三家子郷	吉林省博物館	j135 ; j082	
271	金	勾當公事之印			1970	吉林市	吉林市博物館	j083	
272	金	勾當公事之印			1976	寧安県沙蘭公社躍進大隊	寧安県文管所	j134 ; hg042	
273	金	勾當公事之印			1977	龍江県		j133 ; hg043	
274	金	勾當公事之印		右：勾當公事之印，左：□□年 月 日	解放後	遼寧省内徵集	遼寧省文物店	ll118	
275	金	勾當公事之印		勾當印	1973	内蒙古自治区寧城县	赤峰市博物館	j136	
276	金	勾當公事之印			1970	遼寧省莊河県		j138	
277	金	勾當公事之印				吉林省扶餘県		j139	
278	金	委差勾當地字號之印	地□□□		1951	北京市徵集	吉林省博物館	j086	
279	金	差委官宋字印	興定二年三月行書礼部造	差委官宋字印		遼陽市灯塔県西大窩郷官屯村	遼陽市博物館	ll116	
280	金	乃古忒枝浦姑刻特土里記	正隆二年□月□少府監／乃古忒枝浦姑刻特土里記		1980年代	吉林省洮南県		y5	
281	金	[大定二十]五年監			1990年代	黒竜江省阿城市金上京代遺址		y21	
282	金	都綱司印	行尚書省造癸巳年月日	都綱司印	1951	北京市徵集	吉林省博物館	j197 ; j089	
283	金	元始無量壽太極使司			1973	鉄嶺熔煉廠	遼寧省博物館	ll121	
284	金	合懶烏主猛安印			解放前	農安県		hg006	『金史』24(552) ; 82(1844) ; 86(1925) ; 104(2299)
285	金	合懶烏主猛安之印		合懶烏主猛安印 貞祐二年十二月	1957	長春市郊	吉林省博物館	j1219 ; j050	『金史』24(552) ; 82(1844) ; 86(1925) ; 104(2299)

No.	時代	表記（印面）	表記（背面）	表記（側面）	出土時期	出土地点	所藏機関	掲載文献	関連資料
286	金	合懶烏主猛安之印		合懶烏主猛安印 貞祐二年十二月	解放前	吉林省	長春某氏旧藏	jin244	『金史』24(552)；82(1844)；86(1925)；104(2299)
287	金	拿里渾河猛安之印	正隆元年十一月 内少府監造	拿里渾河猛安之印	1963	安図県明月鎮	吉林省博物館	jin217；j049	
288	金	捺末剌思魯猛安印	右：正隆六年十月，左：	捺末剌思魯猛	1964	寛甸県楊木川郷	遼寧省博物館	ll088	
289	金	拽撻懶河猛安之印	正隆元年十一月 内少	拽撻懶河猛安	1982	德惠県大房身郷	德惠県文管所	jin218；	
291	金	熟伽泊猛安印	右：正隆元年十月，右：	熟伽猛安印	清代	五常県		jin215；	
292	金	阿設罕謀克印	右：大定九年九月，左：少府監造	上：阿設罕謀克印，左：鉢			遼寧省博物館	jin226；ll089	
293	金	俺母思和拙謀克印	大定九年七月 少府監造	俺母思和拙謀克印 宋閣屯猛安下	1955	九台県鎮	吉林省博物館	jin224；j067	
294	金	拜因阿鄰謀克之印	右：承安五年閏二月，左：礼部造	上：拜因阿鄰謀克之印	1977	甘南県中興公社綠色農場	黑竜江省考古研究所	jin240；lh23；hg009	
295	金	卜魯哥烏主謀克印	大定六年七月 少府監造	卜魯哥烏主謀克印□黑烏□猛安下	1978	扶余県大窪郷	吉林省博物館	jin222；j065	
296	金	蒲麻漢謀克印	大定十年五月 少府監造	蒲麻漢謀克印 系宋哥屯猛安下	1957	汪清県	吉林省博物館	jin231；j072	
297	金	多厓撚山謀克之印	大定十年■五月，少府監造	多厓撚山謀克之印	1957	内蒙古奈曼旗	内蒙古自治区博物館	jin228	
298	金	掛里阿鄰謀克之印	承安五年閏二月禮部造	掛里阿鄰謀克之印	1964	盤石県駄馬郷	吉林省博物館	jin241；j074	
299	金	哥扎宋哥屯謀克印	右：大定十年五月，左：少府監造	上：哥扎宋哥屯謀克印，左：係宋哥屯猛安下	1977	依蘭県達連河公社晨光大隊	依蘭県文管所	jin229；lh21；hg008	『金史』86(1924)
300	金	合里哥謀克印	大定九年八月少府監造			遼源県鎮	西安県政府旧藏	jin225；j068	
301	金	合札壽吉斡母謀克印	大定二十二年九月尚書禮部造		民国期	遼寧省朝陽県		jin239	
302	金	曷蘇昆山謀克之印	大定十年七月，少府監造	系蒲与猛安下、曷蘇昆山謀克印	1987	北安市城郊郷	北安市文物管理所	lh22	『金史』66(1564)
303	金	黄鑫謀克之印	大定九年九月 少府監造	黄鑫謀克之院 系圖魯屋猛安下	1935	集安県鎮 or 朝鮮境内内満浦	輯安尹傳家(達夫)旧藏	jin227；j069	
304	金	監烈可烏主謀克之印	監烈可烏主謀克之印		1982	德惠県大房身郷	長春市文管会	jin247；j078	
305	金	庫普里根必剌謀克之印	承安五年閏二月禮部造	庫普里根必剌謀克印	1973	海龍県水道郷	中国歴史博物館	j075	
306	金	惱温必罕合扎謀克印	上京行六部造	貞祐三年四月日	1982	樺川県	樺川県文化局	jin245；lh24	
307	金	迷里迭河謀克之印	定十九年五月，禮部造	迷里迭河謀克之印，女真文一行	1986	哈爾濱市郊外	哈爾濱市文管所	jin236	
308	金	毛石都拔謀克之印	大定十年五月 少府監造	毛石都拔謀克之印 系合古猛安下	1983	長春郊区	吉林省博物館	j073	

No.	時代	表記（印面）	表記（背面）	表記（側面）	出土時期	出土地點	所藏機關	掲載文献	関連資料
309	金	毛都虎謀克印	大定十年五月 少府監造	毛都虎謀克印 系胡魯失懶 猛安下	1965	長春市郊	吉林省博物館	jln230 ; j071	
310	金	謀魯堅謀克印			1953	遼寧省遼河公社松樹溝大隊	供	jln248 ; hg010	
311	金	撒土渾謀克印	大定十年五月 少府監造	撒土渾謀克印 系納里渾猛 安下	1979	九台縣慶陽村	吉林省博物館	j070	
312	金	廝思渾謀克印	貞祐四年三月日上京禮部造	廋思渾謀克印	1984	榆樹縣秀水鄉	榆樹縣博物館	jln246 ; j077	
313	金	宋建謀克之印	右：大定十年五月，左：少府監造	上：宋建謀克之印，左：係合古猛安下	1978	本溪縣東明採石場	本溪縣文館所	jln546 ; ll090	
314	金	恤品河窩母艾謀克印	右：大定十年六月，左：少府監造	上：恤品河窩母艾謀克之印，左：係重古猛安下		嘉蔭縣	黑龍江省博物館	jln232 ; hg005	『金史』24(552)
315	金	圖刺吉謀克印		圖刺吉毛克印	1991	岫岩縣黃花甸鎮閑門山村	岫岩縣文管所	ll147	
316	金	退渾謀克之印	大定九年七月 少府監造	退渾謀克之印 系必刺海都 鉢孟安下	1982	扶余縣伯都鄉	扶余縣博物館	jln223 ; j066	
317	金	斡鄰阿鄰謀克之印	大安二年四月		1934	遼寧省岫岩縣	北京故宮博物院	jln242	
318	金	審忒忽達葛謀克印	貞祐元年三月 尚書禮部造		1957		吉林省博物館	j076	
319	金	扎迪吉弼圖毛克印			1976	恒仁縣八里甸	遼寧省博物館	ll148	
320	金	□□之印			1975	克東縣金城公社古城大隊		hg055	
321	金	□司□記			1981	遼寧省建平縣	建平縣文物管理所	jln128	
322	金？	不明文字双面印 1			90 年代初	黑龍江省阿城市大嶺鄉金代早期陵址		y23	
323	金？	不明文字双面印 2			90 年代初	黑龍江省阿城市大嶺鄉金代早期陵址		y24	
324	金一元	陳宜都總帥府詳議印					遼寧省博物館	ll156	
325	大遼	大遼尚書吏部之印	右：大遼尚書吏部印，左：天統二年四月造		1956	丹東市振安區九連城鎮九連村	丹東市振安區文管所	jln508 ; ll154	
326	大遼	大遼行省委差勾當印	委差印		1984	泰來縣塔子城	黑龍江省博物館	jln511 ; lh26	
327	大遼	克剌阿鄰猛安所之印		右：克剌阿鄰猛安所印，左：天統三年四月日造	1960	鳳城縣湯河大隊	丹東抗美援朝紀念館	jln510 ; ll153	
328	大遼	萌奪果大猛安合里太謀克印		右：萌奪果猛安合里太謀克印，左：天統三年四月日造	1973	寬甸縣紅石〔石立〕鄉	丹東抗美援朝紀念館	jln509 ; ll155	
329	東夏	定國公夫人印	天泰四年四月十八日南京行部造		1988	安圖縣長興鄉	延邊州博物館	jln515 ; j091	
330	東夏	行尚書六部印	天泰三年七月二十七日造		1988	鎮賚縣七屯鄉	鎮賚縣文管所	jln517 ; j090	
331	東夏	尚書禮部之印	大同二年八月日 少府監造	尚書禮部印	1980	琿春縣三家子鄉	延邊州博物館	jln527 ; j092	

No.	時代	表記（印面）	表記（背面）	表記（側面）	出土時期	出土地点	所蔵機関	掲載文献	関連資料
332	東真	左三部架閣管勾之印	右：天泰二年六月 日 ／左：■	■		ウスリースク		2004-2	『金史』55(1218)
333	東夏	吏部主事之印	天泰九年七月份 少府 監造	吏部主事之印	1975	延吉市	延辺州博物館	jin522 ; j111	
334	東夏	徳虎魯府軍政之印	大同六年禮部造		1923	琿春県春化郷	朱榕（望溪）旧蔵	jin530 ; j101	
335	東夏	軍政之印	天泰十四年十月		1950	柳河県凉水河鎮	北京故宮博物院	jin526 ; j094	
336	東夏	副統所印	大同八年四月日	副統印	1980	琿春県三家子郷	延辺州博物館	jin532 ; j095	
337	東夏	副統所印	天泰四年		1973	琿春県三家子郷	吉林省博物館	j096	
338	東夏	副統所印	大同十年七月禮部造	副統印	1973	敦化県大蒲柴河郷	延辺州博物館	jin535 ; j103	
339	東夏	行軍萬戸之印	天泰九年七月份 少府 監造		1975	琿春県三家子郷	延辺州博物館	jin523 ; j098	
340	東夏	行軍萬戸之印	天泰九年七月份 少府 監造	行軍萬戸印	1980	琿春県三家子郷	延辺州博物館	jin524 ; j097	
341	東夏	行軍萬戸之印	天泰九年七月份 少府 監造		1981	琿春県三家子郷	琿春県文管所	jin525 ; j099	
342	東夏	行軍萬戸之印		行軍萬戸所印	1989	安図県福興村	延辺州博物館	j100	
343	東夏	萬戸天字号印	右：天泰二年六月日, 左： 北京行六部造	左：萬戸印	1975	海林県長汀公社新勝大隊	黒竜江省文物考古 研究所	jin514 ; hg014	
344	東夏	兵馬安撫使印	天泰五年四月二十八日 南京行部	兵馬安撫使印	1962	吉林市徴収	吉林省博物館	jin519 ; j093	
345	東夏	南京路勾當公事之印	天泰三年六月一日 南 京路勾當公事之印	南京行部造	1954	延吉県城子山山城	吉林省博物館	jin516 ; j106	
346	東夏	勾當公事天字號之印	天泰二年三月日□□所 造	□□□印	1976	琿春県三家子郷	延辺州博物館	jin513 ; j105	
347	東夏	勾當公事之印	大同八年五月禮部造		1957	琿春県三家子郷	吉林省博物館	j108	
348	東夏	勾當公事之印		南京行部造勾 當公事印	1962	前郭県鎮	吉林省博物館	jin131 ; j107	
349	東夏	勾當公事之印	大同七年七月禮部造		1966	輝南県輝発城郷	吉林省博物館	j109	
350	東夏	勾當公事之印	大同七年七月禮部造		1975	延吉県城子山山城	延辺州博物館	jin531 ; j110	
351	東真	勾當公事之印	右：天泰六年／左： 十二月日造	勾當公事之印		ウスリースク	個人蔵	2004-3	
352	東真	總押所印	右：大同二年十一月日 ／左：少府監造				州立博物館	jin423 ; 2004-5	
353	東夏	總押所印	大同十年七月禮部造	總押印	1969	延吉県桃源郷	延辺州博物館	jin534 ; j102	
354	東夏	古州之印	天泰二年廿五日，應辦 所造	古州之印	1984	黒竜江省牡丹江市	牡丹江市文管站	jin512	
355	東夏	會州勸農之印	大同四年九月		1957	農安県柳条溝郷	吉林大学考古系	j112	
356	東夏	會州廣盈倉印	右：大同四年九月日, 左： 礼部造	右：會州廣盈 倉	1977	依蘭県演武基公社幸福 大隊	依蘭県文管所	jin528 ; hg053	
357	東夏	運州總押所印	大同四年十月日禮部造		1931	黒竜江省東寧県		jin529	
358	東夏	監造提控所印	天泰四年六月造	監造提控所印	1977	依蘭県旧城	依蘭県文管所	jin518 ; hg034	
359	東真	耶懶猛安之印	右：天泰七年十二月, 左： 少府監造	耶懶千戸之印		クラスノヤルスク		2004-4	『金史』24(552) ; 70(1624/1625)
360	東夏	阿里合謀克印	天泰七年十二月 少府 監造				吉林大学文物陳列 室	j104	

No.	時代	表記（印面）	表記（背面）	表記（側面）	出土時期	出土地点	所藏機関	掲載文献	関連資料
361	東夏	不旬古阿鄰謀克之印	天泰十八年		1919	農安縣城子後山城		j1n520 ; hg012	
362	東夏	奪與古阿鄰謀克之印	右：天泰七年十二月，左：少府監造	上：奪與古阿隣，右：毛克印	1970	巴彥縣松花江公社	黑竜江省博物館	j1n521 ; lh25 ; hg011 ; w309	『金史』120(2622)
363	劉永昌	萬戸之印	天賜二年五月		1974	内蒙古自治区敖漢旗	敖漢旗博物館	j1n541	
364	劉永昌	都統府彈押印	天賜二年，彈押		1976	遼寧省朝陽縣		j1n539	
365	劉永昌	都統府彈押印	天賜二年造		民国期	遼西	錦県陳氏旧蔵	j1n540	
366	劉永昌	都提控所之印	天賜二年六月平州造	都提控印	1970	喀左県老爺廟鄉蝴蝶溝村	喀左県博物館	ll133	
367	劉永昌	和衆縣印	右：天賜二年五月，左：和衆縣印				遼寧省博物館	j1n56 ; ll150	『金史』24(558)
368	劉永昌	蒲楊縣尉之印	右：天賜二年六月，左：蒲楊縣尉印		1975	阜新県七家子郷	阜新県文管弁	ll151	
369	元	〔八思巴文〕王傳之印	王傳之印／至元八年十一月／中書礼部造		1993	吉林省前郭爾羅斯蒙古族自治県		y38	『元史』89(2272)
370	元	遼西行省元帥府印			1983	興城縣菊花島王洞	興城縣文管所	ll157	
371	元	戸部主事璽					旅順博物館	ll158	『元史』85(2127)
372	元	崇文監典簿行印	崇文監典簿行印 中書禮部造 至正二十九年五月日		1984	長嶺縣鎮	吉林省博物館	j1116	
373	元	遼陽等處打捕鷹房紅花總管府印	遼陽榮處打捕鷹房紅花總管府印 中書禮部造 至順二年四月		1986	蛟河縣	吉林市博物館	j123	
374	元	〔八思巴文〕管水達達民戸達魯花赤之印	管水達達民戸達魯花赤之印，至元十五年十二月 日中書礼部造		1977	阿城縣白城	金上京歴史博物館	lh27 ; hg057 ; w316	
375	元	〔八思巴文〕管領本投下人戸提領印	右：管領本投下人戸提領印，左：中書礼部 造，至元十七年六月 日				遼寧省博物館原蔵	ll166	
376	元	〔八思巴文〕沈陽等處軍民屯田使司分司印	右：瀋陽等處軍民屯田使司分司印，左：中書礼部 造，至正十七年正月 日		1958	阜新縣塔營子元懿州城址	遼寧省博物館	ll174	
377	元	海西遼東道宣慰使司都元帥府照磨印	海西遼東道 宣慰使司都元帥府照磨印中書禮部造 至正元年十月		1979	蛟河縣天崗郷	吉林市博物館	j121	
378	元	陝西四川蒙古軍都萬戸府印	陝西四川蒙古軍都萬戸府印 中書禮部造 宣光二年五月		1974	通榆縣興隆山郷	吉林省博物館	j1113	
379	元	管民千戸之印	塔察國王發，甲寅年六月日造		1978	宝清縣十八里公社報国大隊	黑竜江省考古研究所	lh29 ; hg056	
380	元	〔八思巴文〕西域親軍都指揮使司千戸所印	中書礼部造／至正元年十月日／西域親軍都指揮使司千戸所印		1990年代	吉林省蛟河縣某郷		y39 ; w318	『元史』86(2170)
381	元	西域親軍都指揮使司千戸所印	西域親軍都指揮使司千戸所印／中書礼部造，至正元年十月日		1991	吉林省蛟河縣			『元史』86(2170)
382	元	〔八思巴文〕左衛阿速親軍千戸所印	右：左衛阿速親軍千戸所印，中書禮部 造，元統三年九月 日				遼寧省博物館原蔵	ll171	『元史』99(2527)

No.	時代	表記（印面）	表記（背面）	表記（側面）	出土時期	出土地点	所藏機関	掲載文献	関連資料
383	元	左阿速衛千戸所印	左阿速衛千戸所印 中書禮部造 至正四年十月日		1957	通榆縣興隆山鄉	吉林省文物考古研究所	j114	『元史』99(2527)
384	元	〔八思巴文〕左衛阿速親軍百戸印	右：左衛阿速親軍百戸印，左：中書禮部造，元統三年九月日				遼寧省博物館原藏	II170	『元史』99(2527)
385	元	右阿速衛親軍都指揮使司百戸印	右阿速衛親軍都指揮使司百戸印中書禮部造 至正六年三月日				吉林市博物館	j120	『元史』99(2527)
386	元	〔八思巴文〕羽林百戸印	羽林百戸印，中書禮部造至正十二年三月		1981	彰武縣豐田鄉大王家	彰武縣文管所	II164	
387	元	〔八思巴文〕〔田比〕陽等處軍民千戸所經歷印	右：〔田比〕陽等處軍民千戸所經歷印，左：中書禮部，至正十八年三月				遼寧省博物館	II175	
388	元	沿海處防千戸所	沿海處防千戸印 中書禮部造 至正十五年八月日		1978	双遼縣紅旗鄉	吉林省博物館	j115	
389	元	宗仁蒙古侍衛親軍都指揮使司百戸之印	宗仁蒙古侍衛親軍都指揮使司百戸印中書禮部造 至治三年正月日		1974	九台縣慶陽鄉	吉林省博物館	j118	
390	元	東路蒙古侍衛親軍百戸	東路蒙古侍衛親軍百戸印中書禮部造 至元五年四月日		1976	通榆縣興隆山鄉	吉林省博物館	j117	
391	元	〔八思巴文〕兀良海牙百戸印	右：兀良海牙百戸印，左：禮部造至元廿三年		1973	鉄嶺熔煉廠	遼寧省博物館	II168	
392	元	〔八思巴文〕沿海巡防百戸印	右：沿海巡防百戸印，左：中書禮部 造，至正十五年八月日		1982	岫岩縣偏嶺鎮細玉溝村	岫岩縣文管所	II173	
393	元	虎賁軍百戸印			1896	農安縣鎮		j119	
394	元	〔八思巴文〕管軍總把印	右：管軍總把印，左：中書吏禮部 造，至元十二年二月 日		1983	法庫縣十間房公社前魏樓高麗房	鉄嶺市博物館	II165	
395	元	〔八思巴文〕總把之印	總把之印／中書禮部造		1990年代	吉林省白城地区		y41	『元史』7(129)
396	元末	〔八思巴文〕征戍之印	征戍之印／大義二年正月／禮部造		1980年代	吉林省松原市		y43	
397	元	〔八思巴文〕鎮寧州諸軍奧魯印	右：鎮寧州諸軍奧魯印，左：中書禮部 造，至正十五年七月 日		1905	黑竜江省阿城東四公里大岳古屯阿什河右岸半拉城子	遼寧省博物館原藏	II172；hg058	
398	元	鎮寧州諸軍奧魯之印	鎮寧州諸軍奧魯□／中書禮部造，至正五年九月日		1925	黑竜江省阿城市		w317	『元史』42(891)
399	元	〔八思巴文〕吾剌毛舟站印	右：吾剌毛舟站印，左：中書禮部造，皇慶元年九月日			吉林省鎮賚縣沿江鎮徵集	鎮賚縣文管所	IIj064	
400	元	〔八思巴文〕斜列站印	右：斜列站印，左：禮部造廿伍年		1985	鳳城縣劉富河鄉衛國村	鳳城縣文管所	II169	
401	元	寧昌站印	右：寧昌站印，左：中書禮部 造，至元二年十月 日		1973	鉄嶺熔煉廠	遼寧省博物館	II162	『元史』58(1354)
402	元	〔八思巴文〕虎紐銀印			解放後	錦州地区	錦州市博物館	II163	
403	元	總押所印		總押印		黑竜江省博物館原藏		hg059	
404	元	總押所印			1973	方正縣永豐公社東興大隊		hg060	

No.	時代	表記（印面）	表記（背面）	表記（側面）	出土時期	出土地点	所蔵機関	掲載文献	関連資料
405	元	總押所印			1974	方正県永豊公社東興大隊		hg061	
406	元	總押所印			1974	方正県永豊公社東興大隊		hg062	
407	元	開元路退毀昏鈔印			1931	延吉県龍井村		j125	
408	元	〔八思巴文〕滄州捕盜之印	滄州捕盜之印／中書礼部造／至正元年十一月		1997	黒竜江省巴彥県		y40	『元史』58(1364)；82(2054)
409	元	桃園巡檢之印	右：桃園巡檢之印，左：尚書礼部造，至正七年六月日				遼寧省博物館原蔵	ll161	『元史』59(1416)
410	元	〔八思巴文〕大定縣尉印	右：大定縣尉司印，左：中書礼部造，至元二十年 月 日				遼寧省博物館原蔵	ll167	『元史』59(1397)
411	元	司獄司印			1947	樺甸県北台子郷		j128	
412	元	司獄司印			1947	樺甸県北台子郷		lh28	
413	元	稅務司記			1951	北京市徵集	吉林省博物館	j126	
414	元	合同印記			1951	北京市徵集	吉林省博物館	j127	
415	元	都提舉使朱記			1964	扶余県大三家子郷	吉林省博物館	j122	
416	元	西邊界社長章			1976	集安県熱闢村	集安県博物館	j124	
417	元	道經師寶			1973	鉄嶺熔煉廠	遼寧省博物館	ll160	
418	元	九老仙都之印			1973	鉄嶺熔煉廠	遼寧省博物館	ll159	
419	元	〔八思巴文〕官印			1995	黒竜江省阿城市双豊郷		y44	
420	元	〔八思巴文〕徽志印			1990年代	黒竜江省綏化地区		y42	
421	元	秉□□枝百所			1998	黒竜江省五常市拉林鎮南八家子村		y45	
422	元	東□□持之印			1990年代	黒竜江省双城市		y46	
423	？	行尚書省宣差提控印	右：行尚書省，左：宣差提控	右：上左右司印，左：癸卯年六月日		ウスリースクニコリスカヤ村	州立博物館	2004-6	
424	？	治中之印				シャイガ	ロシア科学アカデミー極東支部	2004-7	『元史』90(2300)
425	？	上京路勾當公事荒字号之印				ウスリースク		2004-8	
426	？	副統之印	猪兒年八月，日造	副統之印	1984	黒竜江省巴彥県	巴彥県博物館	j1n536	
427	？	□□□□□□之印				ウスリースク	州立博物館	2004-9	
428	？	□□之印			1975	黒竜江省克東県	黒竜江省文物考古研究所	j1n544	
429	？	□□□□□□□所印			近年	内蒙古自治区涼城県	内蒙古自治区博物館	j1n545	

契丹・遼代石刻文の調査

武田和哉・高橋学而・澤本光弘

はじめに

内蒙古調査では、契丹・遼遺跡の性格の解明に重要な役割を果たす碑文等の石刻文にも注目した。そこで、各機関が所蔵する遼代の墓誌・碑文・哀冊等の資料を実見した。ここでは、各機関の施設と所蔵碑文資料の概要を述べ、墓誌に関して若干の考察を行う。

1. 所蔵施設・資料の概要

(1) 翁牛特文物管理所 赤峰市翁牛特旗烏丹鎮にある。市街地の中心部にある翁牛特旗文化局に附属する建物の一部に、事務室・収蔵庫と小規模の展示室が1室設置されており、職員が数名配置されている。展示室内には、契丹以前の考古遺物と、契丹国時代に関係する陶器や金属製品などの遺物が展示されている。特に鶏冠壺を中心とした遼三彩や鏡・帯金具などの金属製品が目を引く。また、展示室中央にある陳列ケース内に、今回の調査で「蕭孝恭墓誌」の拓本が展示されており、文字などの詳細を確認することができた。墓誌本体は残念ながら展示されていなかった。

蕭孝恭墓誌 蕭孝恭は楮特部人であり、父は『遼史』に伝のある蕭惟信である。現在墓誌の存在および内容が公開されている契丹国時代の墓誌で、契丹人のものは40例余報告されているが、その大半は宗室・皇族と国舅族が占めている。身元・出自が不明の例を除くと、宗室・皇族および国舅族以外の出自であることが明確なのは、既報告では当墓誌のみ。

今回の調査では墓誌本体を実見できなかったが、拓本を観察したかぎりでは、当墓誌は34行で、一行あたり24～39字と一定ではない。字の空欠箇所は7箇所あった。これらの書式情報は既報告では情報がなく、今後墓誌の釈読や評価を行う上で貴重な情報である。

(2) 巴林右旗博物館 巴林右旗大板鎮の中心街の建物の一部にある。事務室・収蔵庫に加えて、契丹国時代、契丹国時代以外室、民俗関係の3展示室がある。当旗管内には慶陵や慶州城など契丹国時代の重要遺跡があり、特に契丹国時代の資料群は極めて注目される。展示資料には、陵墓の墓室内に設置されていた木製の棺入れや、管内の陵墓より出土した装身具や副葬品等、慶州城等内より出現した契丹国時代の仏教資料など貴重な資料が数多く展示されている。展示されている哀冊・墓誌には、大遼故義和仁壽皇太叔祖哀冊〔漢文〕、大遼故義和仁壽皇太叔祖哀冊〔契丹文〕、大遼故義和仁壽皇太叔祖妃蕭氏墓誌〔漢文〕、大遼故義和仁壽皇太叔祖妃蕭氏墓誌〔契丹文〕、大遼故皇弟秦越国妃蕭氏墓誌〔漢文〕がある。いずれも、篆蓋と墓誌碑身とがセットになった状態で置かれている。また、壁面にはこれらの哀冊・墓誌の拓本が展示されている。

(3) 巴林左旗博物館 今回訪れたのは、契丹国時代の仏塔がそびえる旧市街の小高い丘にある「巴林左旗博物館」であるが、2004年夏の時点では移転が計画されており、2004年11月頃をメドに遼上京跡に近い場所にある博物館建物に移る予定とのことである。新博物館の建物は訪問時にはほぼ完成しており、開館時には「遼上京博物館」の名称になるという。従来の施設は、展示室2室に、事務室、研究室、収蔵庫等を備えている。展示室裏手には管内の様々な遺跡や陵墓から出土した石刻資料が多く置かれており、また拓本も数多く展示されていた。展示室内には、契丹国時代の資料を中心に展示

がされている。遼三彩や陵墓の副葬品、墓誌等が展示されていた。展示されている墓誌には、鮮演墓碑〔漢文・拓片〕、耶律遂正墓誌〔漢文〕、耶律遂忠墓誌〔漢文〕、耶律隆祐墓誌〔漢文・蓋も〕、永寧郡主墓誌〔契丹文〕、韓高石墓誌〔契丹文〕、蕭興言墓誌〔漢文〕、耶律迪烈墓誌〔漢文〕、耶律迪烈墓誌〔契丹文〕、耶律元佐墓誌〔漢文〕、韓德威墓誌〔漢文〕、韓匡嗣墓誌〔漢文〕、韓匡嗣夫人墓誌〔漢文〕である。このほか、展示されていないものの、拓本が展示されているものとして、蕭氏夫人墓誌〔漢文〕、蔡志順墓誌〔漢文〕、王土方墓誌〔漢文〕、大横帳節度副使墓誌銘〔漢文〕、大横帳節度副使墓誌銘〔契丹文〕がある。展示しきれない墓誌も多く、所長の王未想氏によると「新館に移転した後には、なるべく多くの資料が展示できるようにしたい。」とのことである。

韓匡嗣墓誌 1995年、巴林左旗白音勿拉蘇木で古墓が盗掘され、関係者が保護調査を行った結果、韓匡嗣墓と判明した。墓主が明らかにできたのは墓誌が発見されたことによる。墓誌の大きさは122㌢×横122㌢。誌銘は片面に42字×42行の約1600字が、陰刻の楷書で彫られている。韓匡嗣は『遼史』に伝が立てられており、墓誌銘の釈文作成により、文献との考証が可能となる。なお韓匡嗣墓からは夫人の秦國太夫人墓誌も発見されているが、こちらは摩滅が激しく、判読困難な箇所が多い。

韓德威墓誌 韓德威は上述の韓匡嗣の子にあたる。1994年に近くの牧民によって墓誌が発見された。すでに墓誌釈文と拓本写真が公表されている。しかし、既出の釈文は簡体字であり、拓本写真は上下端が欠けているなどの理由で、これらから正確な釈文を把握することは困難であった。墓誌は縦78㌢×横82㌢×厚3.5㌢、墓誌銘は片面におおよそ38字×39行、約1400字ある。

蕭氏夫人墓誌 当墓誌は、既に墓誌文と拓本が公表されているが、その書式は極めて異例である。左端より書き出され、表面のほか、裏面の約2/3を使用している。契丹国時代の墓誌としては異例の左行墓誌である。墓誌文は全50行で、一行あたり概ね24～38字と一定ではない。墓誌は、表裏面ともに下端付近が磨滅しており、その為に既報告ではこの付近の字を中心に不確定文字が多かったが、今回の調査では調査団に随行した馬鳳磊氏と同博物館の研究員諸氏と共同で釈読を試みた結果、殆どの字を釈読することができた。内容的にみても、同じ表現を二度も繰り返すなど、不自然な点が多いが、これを単純に錯誤や誤表記として片づけるのではなく、内容をよく吟味して、他の墓誌の表記事例などと比較・検討していく必要がある。

(4) 遼中京博物館 遼中京内にある仏塔に隣接した広大な敷地内にある。大きな専用建物内に、広い展示室2室や事務室・収蔵庫があり、契丹国より前代の遺物と、契丹国や金時代の遺物を中心に展示がされている。展示資料としては、青銅器時代の夏家店文化の青銅器資料群が注目されるほか、契丹国時代では中京に関する資料や、墓誌・石刻などの資料が多く展示されている。このほか金代の官印も4点展示されていた。展示されている墓誌には、故保安軍節度使鄧君墓誌〔漢文・蓋も〕がある。このほか、墓誌ではないが、故譙国府君夏公佳城石棺記、蕭闔作仏事碑がある。

(5) 赤峰市博物館 赤峰市の中心街にある巨大な博物館で、多くの展示室を持つ本格的な博物館である。近年改装されたということで、展示室や表示などはかなり整備・洗練されている。展示室は建物の二階と三階にあり、時代を逐って配列展示がされている。展示資料は、概ね契丹国前代の資料、契丹国時代の資料、金・元・清代の資料とに大別されている。契丹国時代の展示では、管内の陵墓などから出土した遼三彩をはじめ、金属製品、装身具、棺を収めた木室建築、そして慶州白塔内より出現した舍利塔や錦などの仏教資料が多く展示されている。墓誌には故耶律習涅墓誌〔契丹文【大字】〕、故耶律氏墓誌〔契丹文〕がある。

(6) 北京遼金城垣博物館 北京市豊台区にある博物館。首都医科大学の工事中に偶然発見された契丹国・金代の南京の城壁と排水施設の遺構を保存・展示している。上階の展示解説室では、契丹国・金・元代の北京の都城の範囲や当時の土木工法などを解説し、関連する資料・遺物を展示している。下階の遺構保存展示室では、発見された排水施設の石組み工法の構造をそのまま観察することができる貴重な施設である。また、屋外には北京市内で発見された契丹国や金代の石刻が展示されているコーナーもあり、近年新出の契丹文字資料で注目される耶律敵烈墓誌、遼府張君墓誌蓋〔漢文〕がある。

(7) 中国石刻芸術博物館 北京市海淀区にある。4室のメイン展示室においては、中国における碑石・石刻文化の変遷を解説・展示しており、極めて参考になる展示内容である。このほか、中庭には膨大な量の碑や墓誌等の石刻〔特に明代～清代が中心〕が集められており、様々な形態の碑文・墓誌を直接見学することができる。契丹国の墓誌としては、王守謙墓誌〔漢文〕があり、拓本は韓佚墓誌〔漢文〕がある。この他秦王発願紀事碑が展示されていた。展示資料は写真撮影可である。〔武田和哉〕

2. 「韓匡嗣墓誌」の基礎的考察

契丹(キタイ・遼朝)の政治や社会をとらえるとき、遊牧民(おもに契丹人)と非遊牧民(おもに漢人などの農耕民)との対立・協調という図式で捉えることが一般的である。これは『五代史記』『宋史』など、国(王朝)を基軸とした文献史料の視点に準じたものであり、主要な視点のひとつではある。しかし、契丹が渤海を滅ぼしたときに活躍した韓知古、澶淵の盟の際に契丹側の交渉を担当した韓德讓といった韓一族の活躍を考えると、文献上でひとえに「契丹人」「漢人」などと記されていてもその実体は多種多様であることがわかる。本調査では、より多面的に契丹社会をさぐる史料として、石刻文に着目し、その録文の収集を進めている。ここでは、韓匡嗣の墓誌の録文を示す。

墓誌銘は大きく7段落に分けられる。①誌題と撰者／②墓主の祖先の系譜と業績(第4～8行)／③墓主の生前の事績と人となり(第9～19行)／④墓主の死亡の経緯(第19～22行)／⑤夫人について(第22～23行)／⑥兄弟について(第23～26行)／⑦子どもについて(第27～32行)／⑧まとめと銘(第33～42行)。本墓誌は合葬墓誌であり、①～⑧の誌文全体の構成は、これ以前の唐代墓誌の書式を承けているといつてよいであろう。選者の馬得臣は、『遼史』巻八十に伝があり、当時屈指の文人であった。墓誌は『書経』などの故事を多用しており、非常に練られた表現がみられる。

墓主の韓匡嗣についても『遼史』巻七十四に伝があり、墓誌と比較するといくつかの相違点があげられる。第一点は、韓匡嗣の経歴の違いである。ここでは詳細を省くが、表1に示したとおり、墓誌と『遼史』とは、それぞれを相互補完する興味深い記事を有す。より厳密な官職の検証から当時の社会の復元が可能となろう。第二点は、南京(燕京)留守の際の事績の違いである。『遼史』によれば、乾亨元年(979)、宋が北漢を滅ぼし南京に進軍した際、守城の長として宋軍を迎え撃ったのが韓匡嗣であった。しかしながら韓匡嗣は、策にはまって大敗し、杖罰をうけることとなる。墓誌で燕王から秦王に異動しているのもこの敗戦をうけての措置であるが、墓誌ではこの経緯について全く触れておらず、注意が必要である。

第三点は、韓匡嗣の子息の不一致である(表2)。『遼史』では、五人の息子の名前が知られるのみだが、墓誌では九人の息子の名が列挙され、七人の娘がいたことがわかる。

紙面が限られているため、大略を述べるにとどまった。詳論や夫人墓誌の考察など問題点は数多くあるが、それらは順次、別の機会に行いたい。

【韓匡嗣墓誌 錄文】

01 05 10 15 20 25 30 35 40 42」
01 故推誠奉上宣力匡運協贊功臣西南面招討使晉昌軍節度使開府儀同三司檢校太師兼政事令尚父京
02 兆尹上柱國秦王食邑一萬戶贈尚書令昌黎韓公墓誌銘 并序
03 宣政殿學士通議大夫尚書兵部侍郎兼知 制誥上柱國馬得臣撰
04 周武王封母弟叔虞于唐叔虞之八葉孫曰晉穆侯穆侯之孫曰萬萬有滅翼之功賜韓原之地厥初因而命
05 氏其後繼以興宗獻子之恩德在人淮陰之功名盖代世濟其美史不絕書 曾祖諱懿不仕
06 王父諱融任薊州司馬或林泉長往或簪黻暫維不辱其身共得伯夷之道必有餘慶竟符尼父之言
07 烈考諱知古彰武軍節度使太師中書令會九五龍飛之主當經綸草昧之時征伐四方鄧禹贊開基之略參
08 謀萬務葛亮成佐命之功直氣陵雲精誠介石居然廊廟之器真為 社稷之臣事載朝經美談人口
09 公則中今之第三子也諱匡嗣風神傑出襟抱豁如善騎射而敦詩書尊德義而重然諾馬良志異人謂威於
10 五常王允時來自當致於千里 嗣聖皇帝以勲舊之胤有幹濟之材乃議襄昇罔循資級持授右驍衛
11 將軍在公既彰於勤瘁進秩宜處於深嚴改授二儀殿將軍此官之置自 公始也雖道無適莫而運有
12 窮通三年不鳴久棲於散地七日来復果驗於連山屬 孝成皇帝續紹宗祧振拔淹滯一見奇表便錫
13 徽章授始平軍節度使特進太尉封昌黎郡開國公尋加推誠奉上宣力功臣靈鶴飛來暫留華表仙查上去
14 湏泛明河俄授上京留守同政事門下平章事臨潢尹方進寔官先繩豪右袁安為政止務公平就加開府儀
15 同三司政事令雄燕之地 皇朝所都宗九服而表則諸侯屯萬旅而控制南夏非威武不可以統率非
16 仁惠不可以保釐授南面行營都統燕京留守盧龍軍節度使幽都尹封燕王加匡運協贊功臣下車之後致
17 理唯新獄訟無冤載闡春棠之化英髦效用重高市駿之風加食邑五千戶賞功也東並方野西漠山河將啓
18 真封允婦元輔授晉昌軍節度使加尚父京兆尹進封秦王 國家以天下方理河西未平資其定遠之
19 謀委以專征之柄授兼西南面招討使羊荊州之安邊吳人敬慕馬伏波之葭寇蠻徼平寧無何以王亨五年
20 孝成皇帝登避 公思鳳翼之早依痛龍躡之祢謝因懷永嘆旋遭沉痾以當年十二月八日薨于神山
21 之行悵享年六十六以統和三年十月九日卜葬于渠劣山之陽禮也 聖上方賴殿邦忽聞捐館傷悼
22 之意有異於常倫祭贈之恩有加於常典 公娶蘭陵蕭氏封陳國夫人以柔順睦諸姻故諸姻稱其德
23 以聖善訓諸子故諸子克其家泊違偕老之情恒抱未亡之苦 公有兄二人彰國軍衙內都將匡圖天
24 成軍節度使司徒匡業有弟八人臨海軍節度使太傅匡祐燕京統軍使天雄軍節度使太師政事令鄴王匡
25 美戶部使鎮安軍節度使太保匡胤鎮安軍節度使司徒匡贊殿中侍御史匡文東頭供奉官匡道彰武軍中
26 軍使圖育氏熊軍將軍唐兀都並先 公而逝金昆玉季厄樹瑤林資忠咸繼於父風不幸俱先於朝露
27 有子九人長曰德源始平軍節度使太尉次曰德慶左監門衛將軍司徒早亡次曰德彰驢毯使左散騎常侍
28 早亡次曰德讓洺密使太師兼侍中次曰德威西南面招討使兼五押彰武軍節度使太師次曰德沖戶部使
29 威勝軍節度使太尉次曰德顯右神武大將軍太尉次曰德晟未仕而終次曰德昌任盧龍軍節院使後
30 公二年而終浮榮十枝擢秀而高低捧日洪河九派激濁而遠近朝宗閱世者不泯令名肯構者多膺大用有
31 女七人一適昭義軍節度使太傅耿紹紀一適遼興軍節度使太尉同政事門下平章事蕭猥恩一適大國舅
32 弟蕭罕餘皆早亡
33 公際會千載佐佑 五朝詢事而好聞正言行已而不拘小節事執掌而無撓物忤意而能容威以令三
34 軍三軍畏之若雷霆惠以安百姓百姓愛之如父母又若崇善道重文士或有業一經射一策而求謁者必接
35 以溫顏待以殊禮況鴻儒硯學者哉由是慕其義登其門者衆矣舉其能授其任者多矣嗚呼
36 公享萬鐘之祿居一字之尊壽逼懸車功崇鏤鼎位望高而如嶽子孫盛而如林生有是榮歿有何恨所惜者
37 萬象朗而拱辰中台自坼百川廣而濟物逝水不迴
38 相國侍中追罔極之恩全奉 先之孝已占遠日尤銜陟岵之哀未刊貞珉深起為陵之慮爰責函翰俾
39 叙勲庸得巨威承 相國之知舊忝 真王之顧既聞 嘉命難訴不才謹為銘曰
40 國有聖君 時生偉人 雲龍合契 魚水相親 乃為心腹 乃預經綸 忠孝衛社
41 富貴逼身 受封于燕 受封于秦 有威在敵 有惠在民 嗚呼
42 公之春也 福履咸臻 公之歿也 哀榮備仲 生歿之美 其誰可倫

結語

墓誌等の石刻文史料は、伝世史料にない文字情報を記した考古遺物ということで、極めて重要かつ貴重な資料群である。今後の墓誌等の発見・報告の内容次第では、従来の契丹史の内容に修正を迫るような可能性を持っている。こうした重要性を認識した上で、体系的な調査とすみやかかつ正確な報告が望まれる。

表1 韓匡嗣墓誌と『遼史』韓匡嗣伝

韓匡嗣墓誌	年	『遼史』韓匡嗣伝
—	—	長樂宮に直す
右驍衛將軍となる	—	—
二儀殿將軍となる	—	—
始平軍節度使、特進、太尉、昌黎 郡開國推誠奉宣力功臣	—	—
—	961	太祖廟諱となる
上京留守同政事門下平章事臨潢尹	969	上京留守となる
開府儀同三司、政事令	—	—
南面行營都統、燕京留守 盧龍軍節度使、幽都尹、燕王 匡連協贊功臣	—	南京留守となる
食邑五千戸	—	—
—	保寧末	樞密使を兼ねる
晉昌早節度使 尚父 京兆尹 秦王	—	晉昌軍節度使
西南面招討使を兼ねる	981	西南面招討使

表2 韓匡嗣の子息

墓 誌	『遼史』列伝
匡嗣 德源 德慶 德彰 德讓 德威 德冲 德顯 德晟 德昌 女七人	匡嗣 德源 德讓 德威 德崇 德凝

北東アジア中世遺跡の考古学的研究
平成 15・16 年度研究成果報告書

文部科学省科学研究費補助金特定領域研究

中世考古学の総合的研究

—学融合を目指した新領域創生—

空間動態論研究部門計画研究 C01-2

編 集	臼杵 勲（研究代表者）
発 行	札幌学院大学人文学部 〒 069-8555 江別市文京台 11
発行日	平成 17 年 3 月 31 日
印 刷	正文舎印刷株式会社 〒 003-0802 札幌市白石区菊水 2 条 1 丁目 4-27